



東コミセンさくら
を残せ！売却するな！



◆2つのコミ協から「鷲宮東コミュニティセンターさくらは売却せず、存続を」の請願が出されていました。総務委員会で「久喜みらいの会」から「趣旨採択で」の動議が出され、可決していました。（共産党不在の委員会）
◆共産党議員団だけが22日の本会議で**原案の請願に賛成討論しましたが、残された案は「趣旨採択」のみになったことから賛成したものです。**
◆今後、ヤオコー2階のコミセンと今の東コミセンとが「併設利用」される見通しです。多くの方の利用で、どちらも必要な施設、にしましょう！

学校給食費無償化請願、委員会では採択され、本会議では不採択に！

◆委員会では請願に賛成の議員が多数を占め採択されました。しかしその際、「久喜みらいの会」と「公明党久喜市議団」は、「趣旨採択」の動議を出しておきながら、本会議では、さらに後退した「請願採択に反対」の態度をとりました。不可解です。

◆「趣旨採択」は、請願の一部について、実現に疑義があるものの、その他は「採択に賛成できる趣旨」だとするものです。いったい、真意はどこにあるのか疑問です。

1 「他市と不公平になる」と言うが、久喜市が第3子が無償にしていることも不公平になってしまいます。

2 「無償化する財源がない」と言うが、財源は作るもの。実現した坂戸市では「財政調整基金」と、あとは財政部先頭に市役所全庁が毎日財源ねん出のために会議を重ねました。」と。これしかない。

3 「国のやることを見守る」と言うが、確かに国は「異次元の少子化対策・給食無償化」を掲げますが、1年間は実態調査をするのみで実施の目処は立っていません。「いつのことかわからない岸田政権の計画」にお任せで良いのでしょうか？

教育環境の委員会では採択されるも、本会議で多数会派の「数の力」で市民の願いが踏みつけに！

反対の主な理由

11月
会議

1万135筆のこえ議会の動きを動かす！

11月議会・物価高騰に市民支援予算追加補正予算が出され、全会一致で可決！

11月議会に追加で補正予算が出されました。中身は**その1**・人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じる一般職職員の給与改定。**その2**・物価高騰に対する国からの交付金を活用した支援です。主な内容は次の通りです。

- ① **物価高騰対応低所得者世帯給付金**・・・令和5年度住民税非課税世帯に1世帯7万円給付。支給日は来年、2024年2月上旬頃予定。（約10.4億円）
- ② **キャッシュレス決済ポイント還元**・・・市内対象店舗でpaypayアプリ利用して決済した方に決済額の20%のポイント付与。
期間は令和6年2月1日から2月14日まで、1回1000ポイント、最大3000ポイント。
- ③ **学校給食費補助**・・・市内小中学校に通う児童生徒（アレルギー等により喫食できない生徒は相当分）令和6年1月から3ヶ月分の給食費無償。
- ④ **私立保育園幼稚園等補助**・・・3ヶ月分の給食費等の物価高騰影響額補助。
- ⑤ **地域活動支援センター・偕楽荘支援**・・・3ヶ月分の食材費高騰影響額補助。
- ⑥ **市内貸し切りバス事業者補助**・・・事業継続を支援（バス車両台数×補助単価・大型94960円等）



新年おめでとう
ございます
辰年 正月

岸田政権の支持率が10%台へと急落をしています。
アメリカ言いなり、大企業優遇政治を転換する年にしましょう。
「大砲より福祉・くらしを」
の声をあげましょう！

日本共産党久喜市議団
物価高騰が暮らしを襲っています。実質賃金や年金も物価高に追いつかず、地球灼熱化による気候変動を実感する日々です。米の収穫は品質・収量も激減しています。

このような状況は、自然に起きているものではなく「政治のあり方」によるものです。
日々、働いて生まれた「新しい富」を政治の力で「適正に分配」すれば、だれもが安心して暮らせます。議会や地域で共に頑張りましょう。

共産党久喜市議団提出の「イスラム組織ハマスとイスラエル双方が武器を置き、速やかに休戦するための外交努力を行うよう求める意見書」が、**全会派一致で可決**しました！ 画期的です！



爆撃の続く
ガザの市内

◆連日、数百名のパレスチナ人がイスラエルによる空爆で命を落としています。
◆その7割が子どもと女性です。歴史的な背景や、理由はありますが、双方が武器を置いて、和平に向け交渉を行うべき、日本政府はそのために力を、とする意見書です。全員賛成なので、これから共同して何かアクションを起こすことも必要です！

ことしも、市民の願い実現で直球勝負だ！



渡辺まさよ

久喜市所久喜705-3

さくら通りの保全を

しっかりと進めるべき

問 桜の木が老木になっている。伐採後に植樹をすべき。

答 伐採した区間は新たな植樹の検討が必要と考える。

問 桜の木の周りの雑草が背の高さまである。除草を。

答 令和5年度中に実施する桜の花・葉が落ちたあとが吹きだまりで相当溜まっている。毎年の清掃をすべき

答 道路脇の落ち葉も収集マスの清掃と併せ行う。

問 備前前堀川の除草の時に一緒に曼珠沙華の花まで刈り込んでしまった。来年はこうならないように改善を。

答 県に来年度は開花時期を考慮するようお願いした。

問 清久工業団地周辺地域にある遊歩道の掘りの雑草がひどく、やっと最近除草されたが、計画的にすべきでは

答 9月中に実施できるように検討する。

北中曽根・上清久地域の側溝に蓋かけを

問 北中曽根・上清久地域の側溝の蓋かけを望む声をかなり聞く。久喜市全体の蓋かけの要望はどの位あり、完了しているのか。

答 緊急性・必要性があるところを実施している。令和4年度要望17件、完了4件、実施途中6件、難しい所7件。

問 難しいと判断した所はやらないのか。地元で要求するときは毎年度要望が必要なのか。

答 市の方で判断し、難しいときは区長に伝えている。毎年度の要望が必要になる。

久喜駅西口再開発の進捗は

問 協議会が立ち上がったが、協議の内容は。

答 基本計画により具体的内容の検討を行う。規約、役員選出、まちづくりの手法を議題とし意見交換をした。

問 具体的な協議会の進め方は。

答 約2分の1の区域に12台程度が停留できるバスターミナルを含めた土地利用構想、整備手法、事業期間など基本計画案を作る。

問 委託企業が進める手法でなく説明会、アンケート、意見交換をしながら進めていたいただきたいが。

答 権利者への説明会、ホームページへ掲載し、新たな人の流れ、賑わいを創設したい。



石田としはる

久喜市栗橋東5-7-21

栗橋市民プラザに設置

予定のコミュニティ

センター機能は継続を

問 市は、防災公園に建設する「防災公園管理棟」に、会議室を設置するので、今後新築する「栗橋市民プラザ内」の「コミセン、貸館機能」の設置は中止するとした。変更に伴い市民の意見はどのように聞いたのか。

答 防災公園管理等の計画は、栗橋宿ふれあい推進協議会、堤防対策協議会、水防団等と協議し決定している。第1期に整備予定。

問 栗橋市民プラザ建設予定のコミセンと比較してどのような施設となるのか。

答 栗橋市民プラザの面積は「200㎡程度。防災公園管理棟の面積は約120㎡。会議室6室、多目的室2室、和室を2室、事務室等を予定。現在コミセンを利用する方は自転車の方が多い。建設予定地の防災公園は、栗橋地区の一番東に位置し、高い場所にある。高齢者が出かけるのは容易ではない。どう考えているのか。

答 施設への交通手段を確保する必要がある、デマンド交通(くきまる)を利用できるように

乗降ポイントを設定する。

市全体の公共交通を見直す中で、公共施設の利用環境整備についても検討していく。

問 防災管理棟完成後、検証した上改めて検討を。

答 転換はしないが、将来的な利用頻度や社会情勢が変わる。それを含めて検討する。

除草の苦情をなくす計画を立て予算を確保すべき

問 R4年度、除草の苦情223件。苦情に対してどんな対応を。

答 繁茂状況や安全性を確認し適宜実施している。

問 除草の回数、年1回を2回等に増やす予算を確保し、市民の声に添えていくべき。

答 埼玉県は年2回実施するがそれでも苦情は来る。複数の路線をまとめ効果を上げ実施していく。2〜3年に1回を毎年やる工夫をする。予算増は求めない。

問 市民には我慢を強いる答弁だ。予算要求し苦情に添えるべきだ。



杉野おさむ

久喜市桜田3丁目7-1・504



地元で愛されている東コミュニティセンター(さくら)

鷺宮東コミュニティセンター「さくら」を残して!

議会に出された請願の内容は切実です。「当初、市から東鷺宮駅前にできるスーパの2階にコミセンと行政施設を造る。と説明があったが、地元の区長会にもコミ協にも、さくらを無くすという話はなかった。行政区の集会などが開催できるのは、さくらしかない。代替えは利かない。」と。

問 鷺宮の東地域は人口増加で公共施設は不足してきた。東にコミセンは1つで良いと決めたことはあるのか。

答 有りません。市のめやすであり、考えた。

問 単なる目安を「従うべき基準」とすることは大問題だ。

答 ていねいに説明をしてきたので、理解していただいていると思った。

問 また、市の公文書(東鷺宮駅前の開発に国の補助を申請するための開発計画書)において

東コミセンさくら売却でコミセンが統廃合・移転すること、あたかも「市民と市は合意形成している」かのような記述がある。おどろきだ。これを確認すると、請願者も「住民合意なんてどこにあるのか。だが合意していると言うのか。市はウソをついてはいけない。」と明確に答えた。(国に対しても、市民に対してもウソをついている。)

主張 地元は合意などしていないと明言している。これは議会としても看過できないことだ。

問 間違ったことは言っていない。正しい。

主張 学校給食の完全無償化を求める請願に応えよ

問 1万人を超える署名に込められた市民の思いをどう考えるか。

答 安心して子育てができるよう取り組む。

問 無償化はいつか。今決めれば来年が可能だ。

答 国が実態調査をするので動向を注視する。

主張

国の動向を見ると、座して見ているだけでは無償化は実現できない。今決断すべきだ。

※このほかに「各小中学校の法定検査実施と早期の改修」「鷺宮横の道路の補修」をもとめました。